

けやき

龍ヶ崎市立城西中学校

学校だより

2019. 12.20 号

321 人（1 年 100, 2 年 102, 3 年 119） 文責 根本 清史



城西中への想い



昨日、次年度の生徒会選挙にともなう“立会演説会”が行われました。生徒会長・副会長・幹事の三役を目指して、8人の生徒が立候補しました。まず、推薦者からの推薦理由と人物紹介があり、その後に立候補者自身から「こんな学校にします」という内容が話されました。一人一人の内容は異なりますが、共通していることは“城西中をより良い学校にしたい”という想いでした。

登校時には生徒昇降口前で挨拶を兼ねながらのアピール。給食時の校内放送での立候補した理由の説明。そして、今回の演説では“各自の城西中に対する想い”を丁寧に全生徒に語りかけていました。どのように表現すれば伝わるのか、理解してもらえるのかということ意識しながらの演説は見応えのあるものでした。このような人たちなら誰に任せても大丈夫だなと感じました。

投票結果により新生徒会メンバーが決定しますが、生徒会・学年委員会（学級代表）・各委員会・実行委員など、それぞれが活躍する場はたくさんあります。321名の全生徒が生徒会の一員であることを忘れずに取り組んでいきましょう。城西中は「全生徒でつくりあげていく」という気持ちをもって、より良い城西中学校になるように、各自ができることを行っていきましょう。

体育館の会場内にいた全生徒が話を静かに聞き、素晴らしい態度で臨むことができたことも“城西中生の良い面”だと思います。ご苦労さまでした。

ゴールを目指して



中学校駅伝大会がたつのこフィールドを発着点として実施されました。6校の中学校から12チームが参加して競技が行われました。大会参加に向けての早朝練習・放課後の走り込み・自主練習などを行いながら、本番を迎えました。当日走ることができた生徒は24人でしたが、選手のサポートや応援などを一生懸命行う姿も多く見られました。上位入賞には届きませんでしたが、ゴールを目指して持っている力を発揮できたと思います。



今回は1・2年生でエントリーしたので、来年度も出場できるチャンスがあります。今回の取組を振り返り、より良い走りにつながる練習を重ねながら、リベンジしてほしいと思います。あきらめることなく活動したことに拍手を贈ります。